

幼児文化芸術

2023年3月吉日
第29号

発行:



一般財団法人
幼児文化芸術協会

幼児文化芸術祭の行方

幼児文化芸術祭は、二〇一八年度までは愛・地球博記念公園(通称モリコロパーク)内の体育館において加盟園が一堂に集まって盛大に行われてきました。

ところが新型コロナウイルスにより大勢で集まるのが難しくなり、二〇二三年は各園ごとに収録したものを編集し、日本や他国の文化芸術映像と併せてネット配信しています。ネット配信は速くに住む親戚の方に見ていただいたり、気に入ったシーンを配信期間中に何度も見ることができると、多くのメリットがありました。

しかし大きな会場で、いくつかの文化芸術を実際に目の前で少しずつ鑑賞できるだけでなく、自分たちが演者となって舞台上立つ機会は大変貴重ですし、見る側にとっても、たくさん親子がワルツを踊る風景は壮観であり、「希望の歌」を数百人の子どもたちが一斉に歌い出したときの歌声は感動ものです。

会場に出掛けるわずらわしさがあったり、リハーサル順番待ちを余儀なくされたりと、楽しいことばかりではありませんが、例えば紅白歌合戦の華やかな出演者もテレビに映っていないところでは皆そうなんだと気付くなど、私たち大人の声かけ一つでこの機会でしか学び得ないものがたくさんあります。このような唯一無二の体験をどうにか復活できないものかと強く願っています。

小幡あさひ幼稚園 園長 白井 邦彰

美里幼稚園

トランプットの仲間たち

二月八日に金管楽器体験をしました。子ども達は金管楽器を見ると「ラッパだ!」と元気な声で答える姿が見られました。絵本で見た馴染みのある形にとても嬉しそうなお顔をしていますが「トランプット」という言葉を聞くと、「ラッパじゃないの?」と子ども達は不思議そうな反応をしていました。そして、講師の方が様々な種類の金管楽器を見せて下さり、一つひとつに興味津々な様子が見られました。管の長さで音が変わることや、息を強く強く吹く音の大きさを、唇を震わせて吹く等、沢山の事を教えて頂きました。はじめは不思議な表情だった子ども、様々な音を聞いていくうちに、とても楽しそうな表情が見られるようになり、最後は皆で楽しく歩きながら音を奏し、全員が音を奏し、成長を感じて貴重な時間となりました。



- 会員園ご紹介
- 栄光八事幼稚園(天白区)
 - 小幡あさひ幼稚園(守山区)
 - 志だみ幼稚園(守山区)
 - とみよし幼稚園(愛西市)
 - 名古屋西幼稚園(西区)
 - 鳴海ヶ丘幼稚園(緑区)
 - 美里幼稚園(豊田市) ※50音順

幼児文化芸術体験

本物の文化・芸術に触れ体験する機会をより多く持つことは、子どもたちの感性や創造力を育み、文化芸術の継承と国際人の育成につなげていくことができます。

幼児文化芸術協会では、未来文化の担い手である子どもたちに本物の文化芸術に触れる機会を提供し、積極的に文化・芸術体験を導入しています。

〈体験いろいろ〉

- アート 雅楽 津軽三味線 ヨガ 日本舞踊 フラダンス エアロピクス パーカッション ジャンベ 和太鼓 尺八 箏 抹茶 金管楽器 マリンパ バレエ 社交ダンス アルパ ヒップホップ インド楽器 等々

幼児文化芸術協会



小幡あさひ幼稚園

アルパ体験

令和四年九月二十二日(木)に、幼児文化芸術体験「アルパ」民族楽器に親しもうくを行いました。

アルパは、南アメリカ大陸のアルゼンチンの北部にある亜熱帯の国パラグアイの、ハーブを一回り小さくしたような民族楽器です。

会が始まると華やかな民族衣装に身を包んだ三名の演者が入場しました。まずは「音色を聴いてみよう」ということで、短めの曲を演奏してくださいと、美しい音色が全身を包み込むように響き渡りました。

続いて、司会の方の進行によりアルパの紹介、パラグアイの紹介、そしてパラグアイの国旗は中央のデザインが裏表で異なる珍しい国旗である話題へと進みました。

そしていよいよ皆でアルパを奏でてみる体験タイムです。三ヶ所に別れて優しくレクチャーを受けながら子どもたちは上手に奏でることができていました。

体験の後はアルパのミニコンサートです。子どもたちに親しみのある曲も演奏され、皆楽しそうに口ずさんでいました。



鳴海ヶ丘幼稚園

一番古いオーケストラ

ホールに入ると、丸い太鼓のような楽器、着物を着た先生方。今日の文化芸術体験は「雅楽」です。「雅楽って?」司会の方は、「一番古いオーケストラ」と説明してくれました。また、雅楽は「みんなが、元気で美味しいものがたくさん食べられて、幸せであるようにお祈りをするために、昔から神社やお寺で行われている音楽と踊り」と教えてもらいました。

すると、衣装を着けて講師の先生が登場! 「わあ!」「おひなさまの服みたい」と、子どもたちは色鮮やかな衣装にうっとり。演奏が始まると、透き通った音色に包まれて、先生の舞を真剣に見つめていました。そして、舞いを体験!! まずは、先生の動きをよく見て練習します。一人ひとり神を持ち、ゆっくりお辞儀をして立ち上がり、心をひとつにして舞います。最後に演奏に合わせて舞うと、ホール内は厳かな雰囲気: 日本古来の音楽や舞いに触れる良い体験となりました。

